

## 平成 30 年度第 2 回安芸地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 31 年 2 月 14 日（木） 14：00～16：30

場所：安芸総合庁舎 2 階 大会議室

出席：委員 24 名中、20 名が出席（代理出席 4 名含む）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 安芸地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 31 年度安芸地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 4 の改定のポイント（案）について
- 2) 移住促進分野の取り組みについて
- 3) 「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」について

議事 (1) (2) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

(No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化)

(植田委員)

土佐備長炭については、原木調達と人材確保・育成が非常に大きな課題となっている。特に、木を切る人の育成にどう取り組むかに重点を置いた支援をお願いしたい。

また、原木のウバメガシについても、子どもたちが育てた苗木を植えるなど教育も併せ、一貫した取り組みとして育成に取り組む必要がある。地域アクションプランの中でも考えながら実施していってほしい。

(鍵山地域産業振興監)

原木の確保から人材の確保まで、ある程度戦略的なものをしっかりつくっていく必要があると考える。そういった戦略づくりや木を切る人の確保、外国人労働者関係、今後 100 年に向けたプログラムづくりなどの個々の事情についても、一緒になって支援させていただきたい。

(松寫安芸林業事務所長)

原木確保の点では、現在、林業試験場では皆伐ではなく択伐に取り組んでいる。これにより、次の世代を早く資源として使うことができる。取り組みの経過を見ながら地元の方にも成果を共有していきたい。

(2) 産業成長戦略について

(東谷委員)

IT・コンテンツ関連産業の振興の目的としては、人材育成とネット通販などを通じた企業の売上向上のどちらなのか。もし、人材育成であるならば、育成のための研修施設があるのか、あるいは研修に行けば補助金が出るのかも併せて知りたい。

(竹村計画推進課長補佐)

IT・コンテンツ関連産業については、人材育成がメインというよりは、IT・コンテンツを生かしたプロジェクトを作っていくことが中心になっており、人材育成はそのための支援策、下支えとすため強化に取り組んでいる。

IT・コンテンツ関係の人材育成については、土佐 MBA の中に IT・コンテンツアカデミーというメニューを設けて人材育成を進めている。

(山崎委員)

外国人材の受入環境の支援について、情報があれば市町村にも積極的に情報提供いただきたい。

(竹村計画推進課長補佐)

高知県庁としても外国人材の受入について、支援センターづくりを含めて検討を始めたところである。商工労働部の雇用に関する施策を中心に、どのような方法があるかを検討しているところだが、また情報を出せるように伝えておく。

(小松委員代理)

農業分野でも担い手不足、労働力不足はかなり深刻であり、外国人材を導入したいと考えている。しかし、受入にあたっての住居の確保が問題になっている。JA グループだけでは難しいため、既存住宅を改修するための費用支援や県営住宅の提供など、協力をお願いしたい。

(東谷委員)

JA 馬路村では、2年ほど前から村主導でユズの収穫時期に県外から働きに来てもらっており、その際に宿泊施設を整備したが、年間20日～1ヶ月程度の使用にとどまっている。そこで、観光等で有効活用したいと考えており、料金体系など参考になるものがあれば教えてもらいたい。

(鍵山地域産業振興監)

改めて詳しい話を聞かせていただいたうえで、参考になる例をお示しさせていただく。

(以上)